

令和6(2024)年度 教育の重点項目

基本理念

「生涯にわたって生き生きと輝く教育」

～豊かに 人と人がつながり 新温泉町の明るい未来を切り拓く～

1 基本方針に掲げる「生きる力」を育む教育の推進

令和6年度は、新温泉町の教育を進める上で最も重要な計画である「第3期新温泉町教育振興基本計画」の折り返し地点となります。この2年間、基本理念である「生涯にわたって生き生きと輝く教育～豊かに人と人がつながり新温泉町の明るい未来を切り拓く～」の実現に向け、計画の周知と土台づくりを進めてきました。本計画の一番目に掲げる「生きる力」の育成は、複雑で予測困難な時代において特に重要です。非認知能力、認知能力を両輪で育て、環境が大きく変化する中においても、自分とは異なる意見や少数意見を認めつつ、折り合いをつけて話し合い、意見をまとめ、「在りたい未来」の創造に向け次代を切り拓いていく力を、学校・家庭・地域が一丸となって育てます。

- ①「主体的・対話的で深い学び」の実践、教師主導の一斉授業から子どもを主語にした授業づくり
- ②「新温泉授業スタンダード5」にある話し合い活動を重視し、授業で子どもが活躍する授業づくり
- ③幼小中高が連携した系統性を重視した指導の充実及び体制づくり
- ④国際交流を生かした国際理解を深める教育の推進
- ⑤多様性を認め、命を大切にす心の育成などを重視した道徳教育の推進
- ⑥デジタル教科書等を活用した個別最適化された指導方法の研究
- ⑦絵本との出会いや豊かな読書活動を推進するための加藤文太郎記念図書館との連携
- ⑧遠隔での交流授業など多様な考えにふれる機会の創造

2 「こどもまんなか社会」構築のための組織力・連携強化

こども基本法の施行等を踏まえ、すべての子ども一人一人が尊重され、安心・安全に生きることが出来る「こどもまんなか社会」構築のための組織力や連携を強化します。具体的には、適応指導教室の機能を拡充し教育支援センターを開設するほか、不登校児童生徒を支援する職員を配置します。また、特別な支援を要する子どもたちが、学校園や学級の温かい教育環境の中で支えられるために、早期から個別最適化された一人一人に寄り添った教育・支援を充実します。さらに、誰もが幸せになれる教育をめざし「ユニバーサルデザイン」の考え方を学校園の保育活動や授業、生活の中で取り入れるとともに、家庭や関係機関と連携しながらアセスメントを丁寧に行い、具体的かつ継続的な支援につなげます。

- ①教育支援センター及び校内教育支援センターを生かした不登校児童生徒支援の充実
- ②特別支援教育の専門性向上のための研修会の実施
- ③児童虐待などから子どもを守るための福祉関係機関との連携及び教育の充実

3 「新温泉町」の力を結集し、伝統文化を生かした「ふるさと教育」の推進

今年度、新温泉町のすべての人々が輝き、町全体が躍動し、子どもから大人までが一丸となって未来を切り拓いていくために「新温泉町文化財保存活用地域計画」がスタートします。この計画が示す目標は「ふるさとの歴史文化の魅力を育み、活かして、未来へと“つなぐ”」です。海、山、温泉などの「自然」と、自然に育まれた「人々の営み」としての「癒し」、「信仰」、「生業」、「交流」、「暮らし」を踏まえた本計画を、まずは「食文化」をキーワードとした楽しい体験などを通じ、実行性あるものにしていきます。

さらに、オリンピック・パラリンピックが開催される年と時を同じくして作成された「第2期新温泉町スポーツ推進計画」を踏まえ、町の特徴を生かしたスポーツやユニバーサルスポーツを実施するとともに、全国規模で検討されている中学校部活動の地域移行についても地域と連携し準備を進めていきます。

令和5年度に提出された「新温泉町中高連携方針報告書」に示された基本方針の1つ「魅力的で系統性のある探求を中心とした『ふるさと教育』の推進」の内容を十分に踏まえ、新温泉町ならではの「ふるさと教育」を推進します。

- ①「新温泉町文化財保存活用地域計画」を踏まえた教育の推進
- ②コミュニティ・スクール連絡協議会の取組の強化及び広報活動の充実
- ③子どもを中心に据えた子ども未来フォーラム等の開催

今年度は、郷土の偉人である「篠原無然」没後100年の記念行事が行われます。厳しい時代にあっても社会全体をよりよくしようと尽力した彼については、遠く離れたゆかりの地、飛騨高山市においても世代を超えて功績を称える事業が展開されています。新温泉町が築いてきた教育・保育の歩みを止めず、未来を担う子どもたちのために、つなぎ・つなぐ・こどもまんなか社会の実現に向け、力を合わせていきましょう。

